

わくわくする学び舎

第3号

令和6年5月30日(木)

～皆でつくろう、皆にとってわくわくする学校を～

柏原市立堅下北中学校 校長室だより



＝ さすが3年 最上級生！

過酷な大雨の中でも真剣に平和学習に取り組み、晴天の下

民泊で農家の方々と温かいふれあいを体験してくれました ＝

5月12日(日)～14日(火)にかけて3年生は修学旅行で長崎県の長崎市・南島原市方面へ行ってきました。出発前の天気予報で心配していた通り新幹線に乗車している時から雨がふり始めました。そして、長崎市内に到着して「被爆体験講話」を聴く頃から、いよいよ本降りの大雨になってきました。外の雨音が煩い中でも、ほとんどの生徒が集中して講話を聴き、厳粛な雰囲気の中「平和セレモニー」の中で、「平和宣言」や「千羽鶴オブジェ献納」を行い、「戦争の怖さ」と「平和の大切さ」を再認識してくれていました。その後も、土砂降りの中ずぶ濡れになりながらも、手を抜くことなく真剣な表情で「平和フィールドワーク」に取り組んでくれていました。

2日目は、班別で「長崎市内フィールドワーク」を行い、その途中で昼食を取り、お土産を購入しました。この時も前日同様に、全てのグループが予定していた集合時間内に戻ってきてくれ、午後からは、南島原市に移動して入村式を行い、各民泊先へ車で移動しました。

3日目の午前中は、各家庭での家業体験を経験して、お昼前に離村式の会場に集合しました。わずか半日ほどの体験でしたが、入村式とは別人の様な表情でお世話になった農家の方々と親しそうに会話していました。離村式では、各民宿の方々と別れを惜しんでいました。民宿の方々も口々に、挨拶や礼儀の良さをほめて下さっていました。中には涙ぐみながら別れを惜しんでいる生徒も多数見受けられました。

今回の修学旅行での多くの体験や学習を通して学んだことを是非今後活かして欲しいので、これだけは覚えておいて下さい。「今回の貴重な民泊体験を今後の学校生活や人生にいかして行って下さい。他人とのあたたかい『ふれあい』や『思いやりの心』を忘れず、他の人に優しく接して『いじめ』や『けんか』のない学校にしていって下さい。自分自身の身の回りの平和を大切にすることが、戦争のない世界平和へつながっているのですよ。」

